



市長の

全力! まち取材

市長が市内のさまざまな場所を取材し、紹介するコーナーです。
市長が全力で市内を巡り、皆さんの声を聴き、キラリと輝く戸田の宝を発掘します。



第24回

今回伺ったのは

有限会社ロングレンジ

●「ボートのまち とだ」で創業25年!

2年ぶりの「まち取材」で訪れたのは、戸田ボートコースから歩いて5分のところに店舗を構える、有限会社ロングレンジ。1995年に設立し、全国有数のボート競技用品専門店としてボート初心者から上級者まで多くの競技者の声に寄り添ってきました。製品をつくる時には、「常に選手ファーストを心掛けている」というオーナーの西島さん。自身も家族もボート競技経験者であることから、選手が競技中にストレスを感じないようながらだの動きに合わせたボートウェアの制作など、大手にはない最大限選手に寄り添う経営を続けています。



◀ 縫製をしている様子を見せてもらいました。



▶ 商品のデザインについて説明してもらいました。

● 戸田に行けば力になってくれる! 「ボートの何でも屋さん」

競技に関わる用具の販売のみならず、厳しい練習のご褒美になればと全国大会限定の記念Tシャツやポーチなどの制作も行うロングレンジ。大学艇庫の学生やお客さんの要望を聞くだけでなく、競技や私生活の相談に乗ったり、適切なアドバイスをしたりと、欠かせない存在となっています。新型コロナが流行し、マスクの入手が困難になった際には、お客さんの要望でボートウェアの生地を使った、呼吸しやすく、デザイン性あふれる布マスクを販売。戸田のハーモナイズドマークの入った布マスクは市長も愛用し、「戸田のオリジナルブランドをつくっているロングレンジさんを見て、元気をもらいました」と、逆境をチャンスに変えて、地域の方々とのコミュニティを育むロングレンジの魅力を再認識していました。

Special photo

今月のパチリ



アトランタオリンピックで実際に使われたモデルの日本代表ユニフォームを体に当てさせてもらいました! 当時は中が全て綿混ポリエステルでつくられており、吸水性が良く、海外の選手からも着心地がいいと評判だったそう。

取材ごぼれ話

「ボートウェアを上手に着こなす若い子たちのコーディネートから学ぶものがある」と西島さん。店舗にはベーシックな色、おすすめの色、少し奇抜な色の3パターン用意していますが、奇抜な色を組み合わせると大会で格好良く着こなすそのセンスに脱帽しているのだとか。

.....(取材を終えて市長は).....

5つのミッションを使い分け、すべての行程を手作業で縫製しているところを見せていただきました。僕もずっとマスクを愛用していますが、縫製がしっかりしていて、何回洗っても、大丈夫です。耐久性の良さの秘密は、この細かな手作業にあることが分かりました。



有限会社ロングレンジ (戸田)

選手だけでなくチーム全体の悩み相談などのコンサルタントも行う、ボート競技用品・ウェアの専門店。1995年に設立して以来、2つのオリンピック時に日本代表のユニフォームを制作したこともあり、「ROWER'S COMMUNITY」のキャッチフレーズのもと、地域の皆さんに愛され続けています。

取材先募集中!

市長が市内の企業や事業所など、皆さんのところへ取材に行きます。申し込みは市長公室まで(内線423)。